

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-533510(P2013-533510A)

【公表日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-518480(P2013-518480)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

B 32 B 27/36 (2006.01)

C 08 G 63/185 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

B 32 B 27/36

C 08 G 63/185

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月20日(2014.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0203

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0203】

本発明の範囲及び趣旨から逸脱することなく本発明の様々な修正形態及び変更形態が、当業者には明らかであり、また、本発明は、本明細書に記載した例及び実施形態に限定されないことが理解されるべきである。

以下に、本願発明に関連する発明の実施形態について列挙する。

[実施形態1]

多層光学フィルムであって、

交互の第1及び第2の光学層を備え、

前記第1の光学層が、第1のカルボキシレートモノマー及び第1のジオールモノマーに由来する第1のポリエステルを含み、前記第1のカルボキシレートモノマーが、約5～約50mol%の4,4'-ビフェニルジカルボキシレートを含み、

前記第1及び第2の光学層が、少なくとも0.04異なる、少なくとも1つの軸線に沿った屈折率を有する、多層光学フィルム。

[実施形態2]

4,4'-ビフェニルジカルボキシレートが、約20～約45mol%の量で存在し、前記第1のカルボキシレートモノマーが、テレフタレートを更に含む、実施形態1に記載の多層光学フィルム。

[実施形態3]

前記第1のカルボキシレートモノマーが、4,4'-ビフェニルジカルボキシレート及びテレフタレートから本質的になる、実施形態2に記載の多層光学フィルム。

[実施形態4]

前記第1のカルボキシレートモノマーが、ペンダントイオン基を有するジカルボキシレートモノマーを更に含む、実施形態1に記載の多層光学フィルム。

[実施形態5]

ペンダントイオン基を有する前記ジカルボキシレートモノマーが、前記第1のカルボキシレートモノマーの総モルに対して約5mol%未満の量で存在する、実施形態4に記載

の多層光学フィルム。

[実施形態6]

前記第1のジカルボキシレートモノマーが、テレフタレート及びジメチルスルホイソフタレートを更に含む、実施形態1に記載の多層光学フィルム。

[実施形態7]

前記第1のジカルボキシレートモノマーが、4,4'-ビフェニルジカルボキシレート、テレフタレート、及びジメチルスルホイソフタレートから本質的になる、実施形態6に記載の多層光学フィルム。

[実施形態8]

4,4'-ビフェニルジカルボキシレートが、約4～約37mol%の量で存在し、前記第1のカルボキシレートモノマーが、テレフタレート及びナフタレンジカルボキシレートを更に含む、実施形態1に記載の多層光学フィルム。

[実施形態9]

前記第1のジカルボキシレートモノマーが、4,4'-ビフェニルジカルボキシレート、テレフタレート、及びナフタレンジカルボキシレートから本質的になる、実施形態8に記載の多層光学フィルム。

[実施形態10]

4,4'-ビフェニルジカルボキシレートが、約5～約25mol%の量で存在し、前記第1のカルボキシレートモノマーが、ナフタレンジカルボキシレートを更に含む、実施形態1に記載の多層光学フィルム。

[実施形態11]

前記第1のカルボキシレートモノマーが、4,4'-ビフェニルジカルボキシレート及びナフタレンジカルボキシレートから本質的になる、実施形態10に記載の多層光学フィルム。

[実施形態12]

前記第2の光学層が、第2のポリエステルを含む、実施形態1に記載の多層光学フィルム。

[実施形態13]

多層光学フィルムであって、

交互の第1及び第2の光学層を備え、

前記第1の光学層が、第1のカルボキシレートモノマー及び第1のジオールモノマーに由来する、第1のポリエステルを含み、前記第1のカルボキシレートモノマーが、約20～約50mol%の4,4'-ビフェニルジカルボキシレートと、ペンダントイオン基を有する約0.1～約5mol%のジカルボキシレートモノマーとを含み、

前記第1及び第2の光学層が、少なくとも0.04異なる、少なくとも1つの軸線に沿った屈折率を有する、多層光学フィルム。

[実施形態14]

前記第2の光学層が、第2のポリエステルを含む、実施形態13に記載の多層光学フィルム。

[実施形態15]

前記第1の光学層のn<sub>xy</sub>が、少なくとも約0.18である、実施形態1～14のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

[実施形態16]

前記第1の光学層のn<sub>yz</sub>に対するn<sub>xy</sub>の比が、少なくとも約3である、実施形態1～15のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

[実施形態17]

前記第1の光学層のn<sub>yz</sub>に対するn<sub>xy</sub>の比が、少なくとも約8である、実施形態1～16のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

[実施形態18]

前記第1の光学層のn<sub>yz</sub>に対するn<sub>xy</sub>の比が、少なくとも約15である、実施

形態 1 ~ 17 のいずれか一項に記載の多層光学フィルム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多層光学フィルムであって、

交互の第 1 及び第 2 の光学層を備え、

前記第 1 の光学層が、第 1 のカルボキシレートモノマー及び第 1 のジオールモノマーに由来する第 1 のポリエステルを含み、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、約 5 ~ 約 50 mol % の 4 , 4 ' - ビフェニルジカルボキシレートを含み、

前記第 1 及び第 2 の光学層が、少なくとも 0 . 04 異なる、少なくとも 1 つの軸線に沿った屈折率を有する、多層光学フィルム。

【請求項 2】

4 , 4 ' - ビフェニルジカルボキシレートが、約 20 ~ 約 45 mol % の量で存在し、前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、テレフタレートを更に含む、請求項 1 に記載の多層光学フィルム。

【請求項 3】

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、4 , 4 ' - ビフェニルジカルボキシレート及びテレフタレートから本質的になる、請求項 2 に記載の多層光学フィルム。

【請求項 4】

前記第 1 のカルボキシレートモノマーが、ペンダントイオン基を有するジカルボキシレートモノマーを更に含む、請求項 1 に記載の多層光学フィルム。

【請求項 5】

ペンダントイオン基を有する前記ジカルボキシレートモノマーが、前記第 1 のカルボキシレートモノマーの総モルに対して約 5 mol % 未満の量で存在する、請求項 4 に記載の多層光学フィルム。